

付着生物ラーバ情報

秋から冬生まれのムラサキイガイラーバはほとんど付着しません

1 ラーバの出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1、出現数の推移は図2、3のとおりです。

(1) サンカクフジツボ

ラーバは見られていません(表1)。

(2) ムラサキイガイ

ラーバは奥内沖で10月3日に5.0個体/m³、10月10日に0.8個体/m³、久栗坂沖で10月4日に2.8個体/m³、10月10日に1.7個体/m³見られました(表1、図2)。

(3) ユウレイボヤ

ラーバは見られていません(表1、図3)。

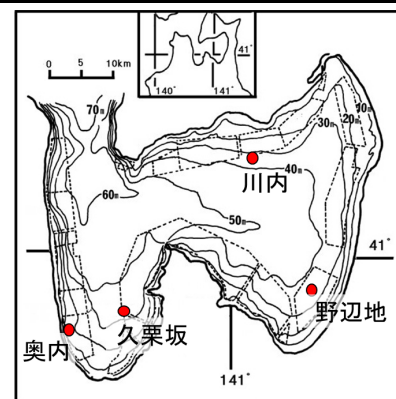


図1 ラーバの調査地点

表1 ラーバの出現状況

単位: 個体/m³

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	ムラサキイガイ	サンカクフジツボ
奥内沖	R5.10.3	0.0	0.0	5.0	0.0
	R5.10.10	0.0	0.0	0.8	0.0
久栗坂沖	R5.10.4	0.0	0.0	2.8	0.0
	R5.10.10	0.0	0.0	1.7	0.0
野辺地沖	R5.10.4	0.0	0.0	0.0	0.0
川内沖	R5.10.4	0.0	0.0	0.0	0.0

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

2 今後の見込み

(1) サンカクフジツボ

付着直前のラーバは見られていないため、付着は終了しましたが、8～9月に多数のラーバが出現したことから、来春の耳吊り作業の効率は低下すると思われます。

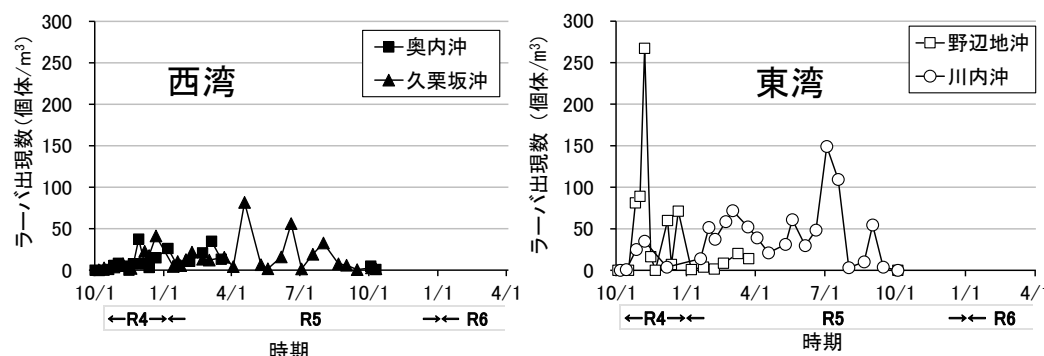


図2 ムラサキイガイラーバ出現数の推移(令和4年10月～令和5年10月)

・平成27年の観察開始から現在までの最大値: 西湾429個体/m³、東湾1,650個体/m³

(2) ムラサキイガイ

ラーバは周年見られ、秋から冬に向けて出現数が増加する見込みですが、秋から冬生まれのラーバの付着はほとんどないことが分かっています。

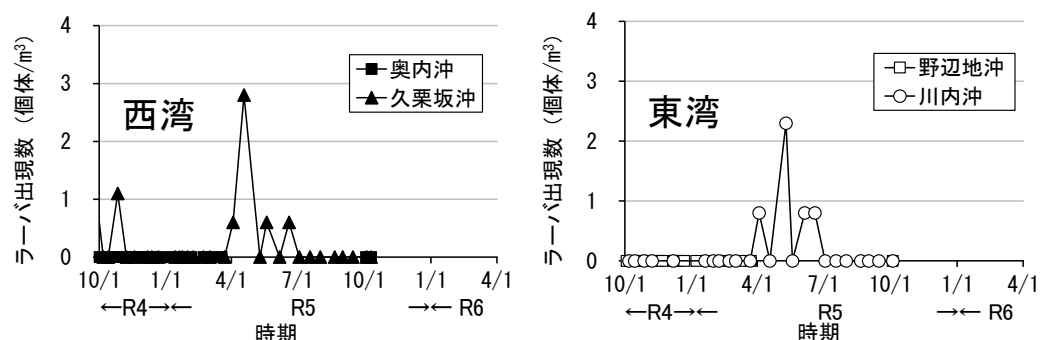


図3 ユウレイボヤラーバ出現数の推移(令和4年10月～令和5年10月)

・令和元年の観察開始から現在までの最大値: 西湾25個体/m³、東湾10個体/m³

(3) ユウレイボヤ

今秋、中層水温が20℃を下回るとラーバが出現する見込みです。

